

第1章 教科に関する調査の結果

平均正答率・平均無解答率 子ども一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導の成果が表れました。

小中学校合わせた5教科中4教科（小学校国語・算数、中学校数学・英語）で全国の平均正答率以上となりました。（5教科中4教科で全国平均以上となったのは、調査開始以来初めてとなります。）

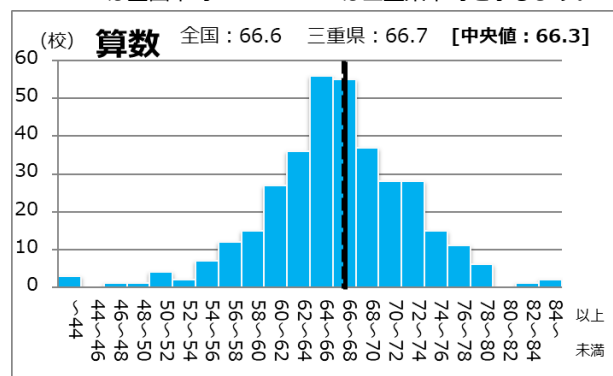
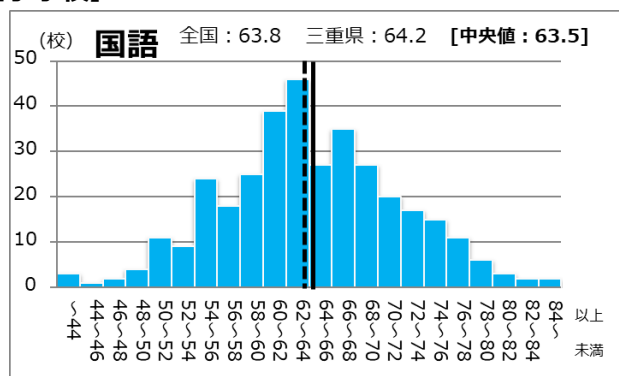
また、平均無解答率では、全教科（小学校国語・算数、中学校国語・数学・英語）で全国より良好な水準となりました。

	平均正答率			平均無解答率		
	国語	算数・数学	英語 (聞く・読む・書く)	国語	算数・数学	英語 (聞く・読む・書く)
小学校	64.2(+0.4)	66.7(+0.1)		5.47(-0.74)	2.49(-0.17)	
中学校	71.7(-1.1)	60.3(+0.5)	56.0(±0.0)	2.57(-0.03)	6.65(-0.66)	5.44(-0.55)

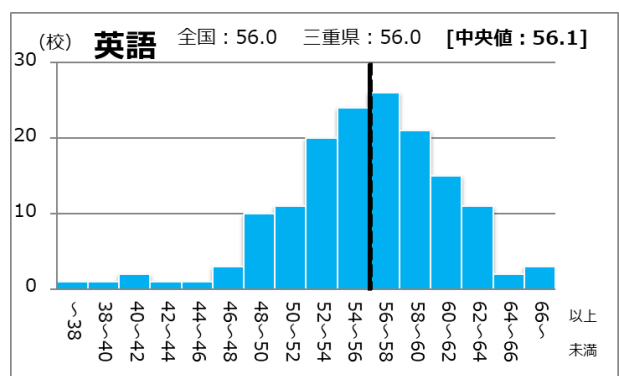
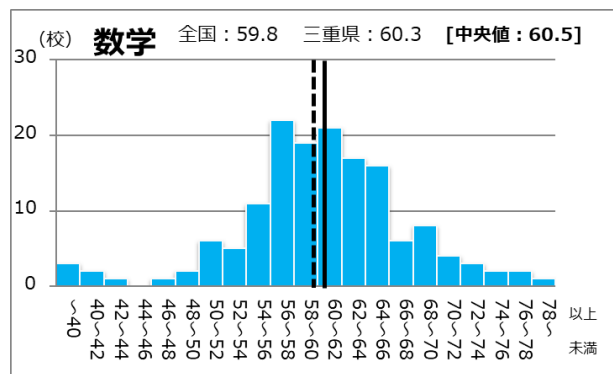
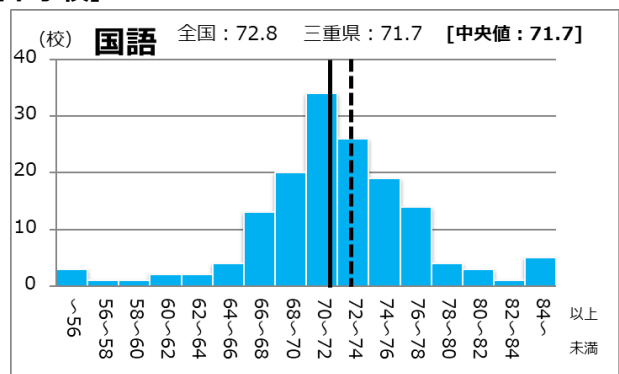
※ () の数値は、全国の平均正答率との差を示します。

平均正答率による学校の分布 平均正答率が40ポイント以上差のある教科があります。

【小学校】



【中学校】



各教科の全国の平均正答率を上回る学校数

小学校	国語	算数	
	166校 (47.8%)	163校 (47.0%)	
中学校	国語	数学	英語
	62校 (40.8%)	80校 (52.6%)	78校 (51.3%)

※ () の数値は、全国の平均正答率を上回る学校数の割合を示します。

小学校国語

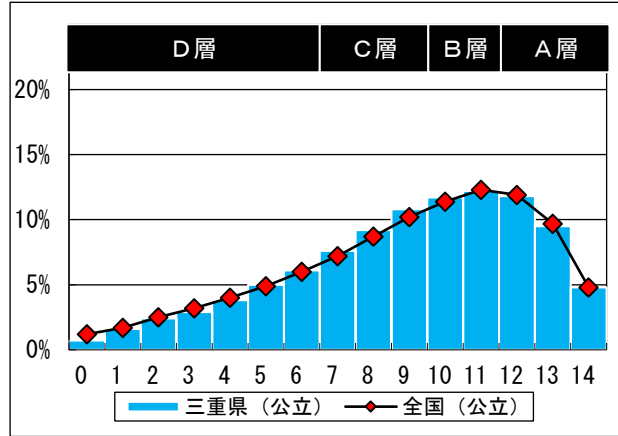
<分類・区分別集計結果>

分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率(%)
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	73.0(+0.7)
	書くこと	3	54.8(+0.3)
	読むこと	3	82.8(+1.1)
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	5	53.4(-0.1)
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	3	59.1(+1.5)
	話す・聞く能力	3	73.0(+0.7)
	書く能力	3	54.8(+0.3)
	読む能力	3	82.8(+1.1)
	言語についての知識・理解・技能	5	53.4(-0.1)
問題形式	選択式	7	75.4(+0.3)
	短答式	4	48.5(-0.2)
	記述式	3	59.1(+1.5)

<児童の正答数分布グラフ>

(横軸：正答数、縦軸：児童の割合)

	平均正答率	平均正答数	中央値	最頻値
本県	64.2	9.0問/14問	9.0問	11問
全国	63.8	8.9問/14問	10.0問	11問



※表中の()内の数値は全国平均との差を示します。

<今回の調査結果の主な特徴と具体的な設問>

目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読むことができます。

大問2 疑問に思ったことを調べ、紹介し合う(「食べ物の保存」)【読むこと】

設問一(2)

食べ物の保存についてまとめている【ノートの一部】の空欄に、疑問に思ったことに対する答えになるよう、【資料】から言葉や文を取り上げて書く問題

- ・「なぜ昔の人は、食べ物を保存する方法を考えなければならなかったのか」に対する答えとなるよう、【資料】の「そのため、人々は昔から様々な方法で食べ物の保存を試みてきました。」の前に書かれている部分に着目して考えをまとめている。

正答率：77.7% (全国差：+1.8)

(2)

○ ○ ○ (条件)

○ 【資料】から言葉や文を取り上げて書くこと。

○ 四十字以上、七十字以内にまとめて書くこと。

○ 疑問に思ったこと

○ ②の答えになるように考えて書くこと。

【ノートの一部】

② 昔の人が食べ物を保存する方法を考えなければならなかった理由は、

イ

【ノートの一部】のイに入る内容を、あとの条件に合わせて書きましょう。

大問1 調べたことを報告する文章を書く（「公衆電話」）【書くこと】

設問三

【報告する文章】の「3 調査の結果をもとに考えたこと」の部分に、「(1) 公衆電話はどのようなときに必要なか」と「(2) 公衆電話にはどのような使い方や持ちようがあるのか」で分かったことをまとめて書く問題

- ・ (1) と (2) の両方から分かったことを取り上げて、報告文にふさわしい表現で書いている。

正答率：30.1% (全国差：+1.3)

三 高橋さんは、「3 調査の結果をもとに考えたこと」の [] に「2 調査の内容と結果」の (1) と (2) で分かったことをまとめて書いています。 [] に入っている内容を、次の条件に合わせて書きましょう。

(条件)

- 「2 調査の内容と結果」の (1) と (2) の両方から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 「報告する文章」にふさわしい表現で書くこと。
- 書き出しの言葉に続けて、四十文字以上、七十文字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。

※左の縦線は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。
 ※右の縦線は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。
 ※のりから書きましょう。どちら側でも書きやすいように、横線に書きましょう。

正答と主な誤答例の反応率

正答の条件

- ① 「2 調査の内容と結果」の (1) と (2) の両方から、分かったことについて言葉や文を取り上げて書いている。
- ② 【報告する文章】にふさわしい表現で書いている。
- ③ 書き出しの言葉に続けて、40 字以上、70 字以内で書いている。

正答 【解答類型1】条件①、②、③を満たしているもの 反応率：30.1% (全国との差：+1.3)

主な誤答例【解答類型4・5】条件②は満たしているが、条件①は満たしていないもののうち、「2 調査の内容と結果」の (1) または (2) のどちらか片方からのみ分かったことについて言葉や文を取り上げて書いているもの 反応率：28.5% (全国との差：+1.9)

【解答類型6】条件②は満たしているが、条件①は満たしていないもののうち、「2 調査の内容と結果」の (1) や (2) から、分かったこと以外の内容について言葉や文を取り上げて書いているもの 反応率：9.7% (全国との差：-0.6)

※反応率とは、解答類型ごとの解答の割合のことです。

<解答類型別に見たつまずきと指導のポイント>

解答類型 4・5
 つまずき：複数の記述を根拠として取り上げ、まとめることができていません。

【指導のポイント】
 報告する文章を書く場合は、調べた結果から自分がどのような考えをもったかを述べることになります。文章全体の構成に即して自分の考えを明確にして書けるよう構成表を作成し、見出しに沿って記述漏れなく書けるよう指導するなどの工夫が考えられます。

解答類型 6
 つまずき：調査の内容とそこから分かったこととを区別してまとめることができていません。

【指導のポイント】
 教材文等を用いて事実と考えとの違いを確かめる指導をすることが考えられます。その際、文末の表現や文と文とのつながりに着目することが大切です。

<課題に対応したワークシート>

- ・ 三重の学-Viva!!セット第 11 弾 「目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書こう②」 【第 5 学年】

中学校国語

<分類・区分別集計結果>

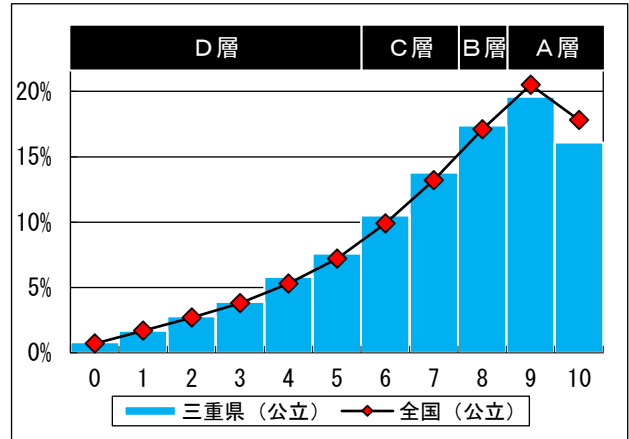
分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率(%)
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	69.1(-1.1)
	書くこと	2	81.7(-0.9)
	読むこと	3	71.6(-0.6)
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	2	65.6(-2.1)
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	3	76.9(+0.4)
	話す・聞く能力	3	69.1(-1.1)
	書く能力	2	81.7(-0.9)
	読む能力	3	71.6(-0.6)
	言語についての知識・理解・技能	2	65.6(-2.1)
問題形式	選択式	6	72.1(-1.5)
	短答式	1	53.4(-3.4)
	記述式	3	76.9(+0.4)

※表中の()内の数値は全国平均との差を示します。

<生徒の正答数分布グラフ>

(横軸：正答数、縦軸：生徒の割合)

	平均正答率	平均正答数	中央値	最頻値
本県	71.7	7.2問/10問	8.0問	9問
全国	72.8	7.3問/10問	8.0問	9問



<今回の調査結果の主な特徴と具体的な設問>

文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをもつことができます。

大問1 情報を読む(新聞)【読むこと】

設問三

【全国中学生新聞】の「みんなの短歌」に掲載されている短歌の中から一首を選び、感じたことや考えたことを書く問題

・短歌の中の言葉を取り上げて、想像できる情景や心情を書くとともに、想像した内容について感じたことや考えたことを、自分なりのものの見方や考え方が分かるように書いている。

正答率：91.6% (全国差：+0.4)

三 「みんなの短歌」に掲載されている内山さんの短歌、森川さんの短歌、松田さんの短歌の中から一首を選び、どの短歌を選んでもかまいません。その短歌を読んであなたが感じたことや考えたことを、「選者より」を参考にしながら、次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 選んだ短歌の中の言葉を取り上げて、想像できる情景や心情を書くこと。

条件2 条件1で想像した内容について、あなたが感じたことや考えたことを具体的に書くこと。

【全国中学生新聞】左ページ

7 文化 2019年(平成31年)4月14日(日曜日) 全国中学生新聞

声の広場

今年こそ優勝!!

残せ感動 残す後悔

(中2・野球大好き)

私の朝の朝は、雪がとけ、春が来た。私は春が大好き。私の誕生日があるから、暖かくなるとね。

(中3・こねこ)

みんなの短歌

今回は、新年度を迎えたフレッシュな心境を表した作品が集まりました。

目覚めるジリジリと鳴る前に胸が高鳴る入会の朝

【選者より】「ジリジリと鳴る前に」と「胸が高鳴る」という表現から、いつもは目覚まし時計の音で起きているのに、この日の朝は、胸がどきどきして目覚まし時計が鳴る前に起きてしまったことが想像できます。入学式の朝は、新しい生活に思いを巡らせて、落ち着かない気持ちになるものです。

中一 泉 あきら

新しいノート教科書取り出して背筋伸ばして始まりを待つ

玄関の鏡の前でもう一度前髪笑顔ボタン笑顔と

春風がいつもの道を駆け抜ける雫の足取り自然と軽く

中一 内山 誠一
中二 森川 りか
中三 松田 花子

イラストははがき大。「みんなの短歌」は1通に2首まで。

▼氏名、学年、住所、電話番号を明記。イラストはペンネーム可。

■投稿先
〒100-6543 東京都千代田区中央3
全国中学生新聞「声の広場」係
FAX 000-123-xxxx
メール zenkoku@xxxxxx

文章の展開に即して情報を整理し、目的や必要に応じて情報を過不足なく選択することに課題があります。

大問1 情報を読む（新聞）【読むこと】

設問二

【全国中学生新聞】の「海外に広がる弁当の魅力」で述べられている、弁当の魅力として適切なものを全て選択する問題

＜選択肢＞

- 1 インターネットを利用して、様々な国の弁当を取り寄せることができる。
- 2 主食、主菜、副菜などが収まっており、栄養バランスのよい食事をとることができる。
- 3 ボックスランチやカスクルートなどとは異なり、戸外に持ち出して食べることができる。
- 4 いろいろな料理が詰められているので、食べ物の風味を保つことができる。
- 5 様々なデザインの弁当箱があり、自分の好みのものを選ぶことができる。

正答率：60.3%（全国差：-1.2）

【全国中学生新聞】右ページ

全国中学生新聞 2019年(平成31年)4月14日(日曜日) 文化 6

海外に広がる弁当の魅力



アメリカのボックスランチやフランスのカスクルートなど、日本の弁当のように戸外に持ち出して食べることでできる食事は、昔から各国にあり、それぞれで細かくなっています。その海外の様々なアイデアを取り上げられ、国際的な弁当のコンクールが開催されたりしています。私たちが身近にあり、特別なものではない弁当が、今、海外

【シリーズ】再発見！日本の文化

例えは、「弁当(bento)」、「漫画(manga)」、「俳句(haiku)」、「縁起物(yukigoto)」は、英語やフランス語などの発音に載っており、海外で受け入れられていることが分かります。本シリーズでは、この五つの日本の文化を取り上げ、5回にわたってその魅力を紹介します。今回は、弁当です。

で話になったのは、海外でも広く知られているものがあります。例えは、「弁当(bento)」、「漫画(manga)」、「俳句(haiku)」、「縁起物(yukigoto)」は、英語やフランス語などの発音に載っており、海外で受け入れられていることが分かります。本シリーズでは、この五つの日本の文化を取り上げ、5回にわたってその魅力を紹介します。今回は、弁当です。

のデパートの食器売り場でも、おしゃべりカラフルな弁当箱がたくさん売られています。さらに、料理をおいしく食べたいための優れた機能をもつ弁当箱もあります。例えは、日本にも古くからある「曲げわっぱ」という木製の弁当箱は、木が湿気を吸うので料理が腐りにくく、食べ物の風味が保たれるという利点があります。美しい木目や色合い、木の香りなども楽しめる「曲げわっぱ」は、海外でも広く知られています。海外でも広く知られる「曲げわっぱ」は、誰かのために作られたり、皆で持ち寄って和気あいあいと食べたりすることもあります。こうした



曲げわっぱの弁当

正答と主な誤答例の反応率	
正答	【解答類型1】 2、5と解答しているもの 反応率：60.3%（全国との差：-1.2）
主な誤答例	【解答類型2】 一つまたは複数選択する中で、2だけ正しく解答しているもの 反応率：14.0%（全国との差：+1.2）
	【解答類型3】 一つまたは複数選択する中で、5だけ正しく解答しているもの 反応率：2.8%（全国との差：-0.1）

＜解答類型別に見たつまずきと指導のポイント＞

解答類型2・3
つまずき：文章の展開に即して必要な内容を過不足なく捉えることができていません。

【指導のポイント】
説明的な文章を読む際には、文章の構成や展開を捉え、内容を的確に理解するように指導することが大切です。
生徒が目的意識をもって文章を読み、必要な情報を整理することができるように指導を工夫することが重要です。具体的には、「文章と図表などとの関連を考えながら、説明や記録の文章を読むこと」「説明や評論などの文章を読み、内容や表現の仕方について自分の考えを述べること」「論説や報道などに盛り込まれた情報を比較して読むこと」などの言語活動を通して指導することが効果的です。
例えば、目的をもって文章を読み、必要な情報を過不足なく取り出すことができているかということに加え、どのようにすればその情報にたどり着くことができるのかについて検討するなどの学習活動が考えられます。その際、小学校での学習を踏まえ、目的に応じて、中心となる語や文を捉えて段落相互の関係や事実と意見との関係を考えて読むように指導することも大切です。

＜課題に対応したワークシート＞

- ・三重の学-Viva!!セット第13弾 「根拠を明確にして意見を書こう」 【第1学年】

小学校算数

<分類・区分別集計結果>

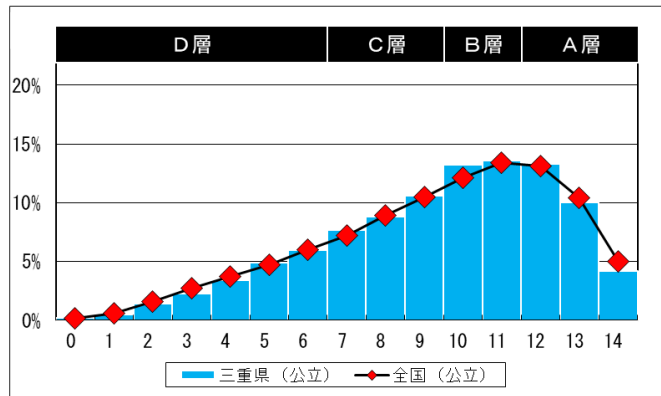
分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率(%)
学習指導要領の領域	数と計算	7	64.3(+1.1)
	量と測定	3	51.3(-1.6)
	図形	2	76.2(-0.5)
	数量関係	7	69.1(+0.8)
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0	-
	数学的な考え方	8	61.7(-0.5)
	数量や図形についての技能	4	75.9(+2.3)
	数量や図形についての知識・理解	2	68.4(-1.7)
問題形式	選択式	5	74.8(-0.9)
	短答式	5	75.2(+2.4)
	記述式	4	45.9(-1.5)

※表中の()内の数値は全国平均との差を示します。

<児童の正答数分布グラフ>

(横軸：正答数、縦軸：児童の割合)

	平均正答率	平均正答数	中央値	最頻値
本県	66.7	9.3問/14問	10.0問	11問
全国	66.6	9.3問/14問	10.0問	11問



<今回の調査結果の主な特徴と具体的な設問>

2010年の市全体の水の使用量が1980年の市全体の水の使用量の何倍かを読み取ることができています。

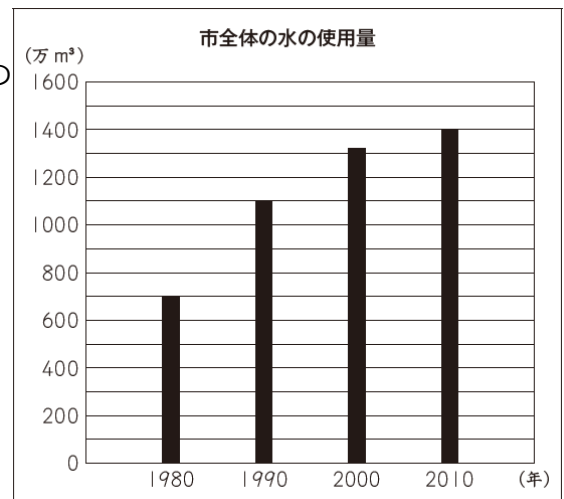
大問2 資料の特徴や傾向を読み取り判断すること(水の使用量) 【数と計算】 【数量関係】

設問(2)

2010年の市全体の水の使用量が、1980年の市全体の水の使用量の約何倍かを、棒グラフから読み取る問題

- ・ 2(倍)と解答している

正答率：82.1% (全国差：+3.5)



加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができます。

大問2 資料の特徴や傾向を読み取り判断すること(水の使用量) 【数と計算】 【数量関係】

設問(4)

加法と乗法の混合した整数と小数の計算をする問題

- ・ 7と解答している

正答率：66.0% (全国差：+5.9)

【かいとさんが考えた式】

$$6 + 0.5 \times 2 = 7$$



示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述することに課題があります。

大問3 計算の仕方の解釈と発展的な考察（計算の工夫）【数と計算】

設問（2）

示された計算の仕方を解釈し、除法に関して成り立つ性質を、「わられる数」「わる数」「商」の3つの言葉を使って書く問題

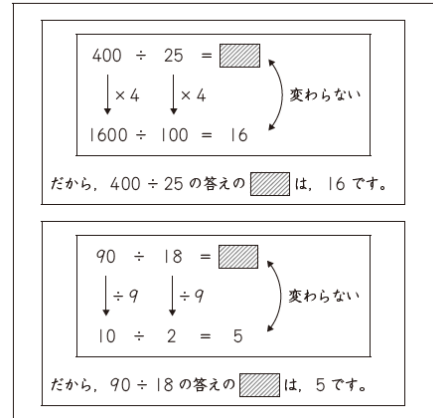
【前段で示された減法の計算の仕方についてまとめたこと】

ひき算では、
 ひかれる数とひく数に同じ数をたしても、
 ひかれる数とひく数から同じ数をひいても、
 差は変わりません。
 このことを使うと、計算しやすいひき算の式で考えることができます。

この問題は、前段に示された減法の計算の仕方についてまとめたことを基に、除法の計算の仕方についてまとめると、どのようになるのかを問うています。

ことねさんは、 $400 \div 25$ や $90 \div 18$ のようなわり算についても、計算しやすい式にすることができると思います、下のように考えました。

【ことねさんの計算の仕方】



（正答例）

わり算では、

わられる数とわる数に同じ数をかけても、わられる数とわる数を同じ数でわっても、商は変わりません。

このことを使うと、計算しやすいわり算の式で考えることができます。

正答率：29.6%（全国差：-1.5）

正答と主な誤答例の反応率

正答の条件

- ① わられる数とわる数に同じ数をかけることを表す言葉を書いている
- ② わられる数とわる数を同じ数で割ることを表す言葉を書いている
- ③ 商が変わらないことを表す言葉を書いている

正答 【解答類型1】 ①②③の全てを書いているもの 反応率：29.5%（全国との差：-1.4）

【解答類型2】 ③を書き、①の同じ数をかけることと、②の同じ数で割ることについては、具体的な数を用いて書いているもの 反応率：0.2%（全国との差：±0.0）

主な誤答例 【解答類型8】 ①②を書いているもの 反応率：14.2%（全国との差：-1.0）

【解答類型3】 ①③または②③を書いているもの 反応率：6.7%（全国との差：+0.2）

※正答率は、【解答類型1】と【解答類型2】の合計です。それぞれの値は小数第2位を四捨五入したものであるため、それぞれの反応率の合計と正答率が一致していません。

<解答類型別に見たつまずきと指導のポイント>

解答類型8

つまずき：「商が変わらないこと」について、言葉を使って表すことができていません。

【指導のポイント】

児童が除法に関して成り立つ性質を具体的な数を用いて表現した場合、「どの数でも当てはまるようにまとめると、どのようになりますか。」などと問い返し、児童自らが見いだした除法に関して成り立つ性質を一般的に表現しようとする活動を多く取り入れることが大切です。

解答類型3

つまずき：「同じ数をかけること」「同じ数でわること」の両方について、言葉を使って記述できていません。

【指導のポイント】

被除数と除数や、商について、適用する数の範囲を広げながら、見いだしたことが他の数値の場合でも成り立つかどうかを確認することができるようにすることが大切です。

<課題に対応したワークシート>

- ・平成28年度ワークシート 「小数×整数の計算のしかたを考えよう」 【第4学年】

中学校数学

<分類・区別集計結果>

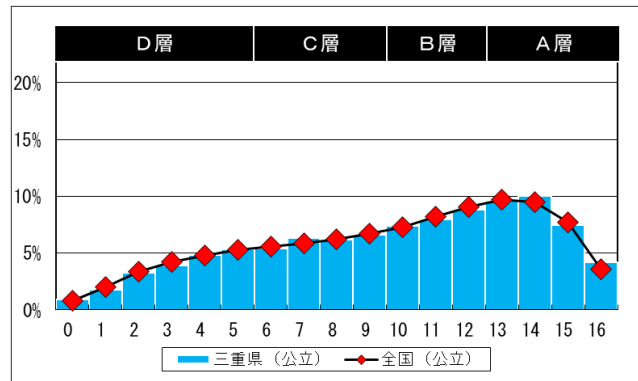
分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率 (%)
学習指導要領の領域	数と式	5	62.8(-1.0)
	図形	4	73.2(+0.8)
	関数	3	42.9(+2.1)
	資料の活用	4	57.1(+0.8)
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0	-
	数学的な見方や考え方	8	51.4(+0.4)
	数学的な技能	3	65.0(+1.1)
	数量や図形などについての知識・理解	5	71.5(+0.2)
問題形式	選択式	5	59.9(-0.4)
	短答式	7	67.3(+0.7)
	記述式	4	48.4(+1.3)

※表中の () 内の数値は全国平均との差を示します。

<生徒の正答数分布グラフ>

(横軸：正答数、縦軸：生徒の割合)

	平均正答率	平均正答数	中央値	最頻値
本県	60.3	9.6問/16問	10.0問	14問
全国	59.8	9.6問/16問	10.0問	13問



<今回の調査結果の主な特徴と具体的な設問>

証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解することができます。

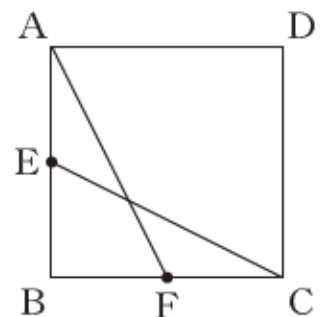
大問7 証明することや反例をあげることを通して、統合的・発展的に考察すること (四角形の条件変え) 【図形】

設問 (1)

証明で用いられている三角形の合同条件を書く問題

予想 1

正方形ABCDの辺ABの中点をE, 辺BCの中点をFとすると, $AF = CE$ になる。



次の(1)から(3)までの各問いに答えなさい。

証明

$\triangle ABF$ と $\triangle CBE$ において,
正方形の4つの辺はすべて等しいから,

$$AB = CB \quad \dots\dots ①$$

点E, Fはそれぞれ辺AB, BCの中点だから, ①より,

$$BF = BE \quad \dots\dots ②$$

共通な角だから,

$$\angle ABF = \angle CBE \quad \dots\dots ③$$

①, ②, ③より, がそれぞれ等しいから,

$$\triangle ABF \equiv \triangle CBE$$

合同な図形の対応する辺は等しいから,

$$AF = CE$$

・ 2組の辺とその間の角 と解答している。

正答率：78.9% (全国差：+3.1)

事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題があります。

大問6 事象の数学的な解釈と問題解決の方法（冷蔵庫）【関数】

設問（2）

冷蔵庫Bと冷蔵庫Cについて、式やグラフを用いて、2つの総費用が等しくなる使用年数を求める方法を説明する問題

健太さんが作った表

	冷蔵庫A	冷蔵庫B	冷蔵庫C
容量	400 L	500 L	500 L
本体価格	80000円	100000円	150000円
1年間あたりの電気代	15000円	11000円	6500円

(2) 健太さんの家では、7ページの健太さんが作った表で、容量が500Lである冷蔵庫Bと冷蔵庫Cのどちらかを購入することになりました。そこで、健太さんとお姉さんは、冷蔵庫を購入してx年間使用するときの総費用をy円として、冷蔵庫Bと冷蔵庫Cの総費用を比べてみることにしました。

健太さん「本体価格は冷蔵庫Cの方が高いので、最初のうちは冷蔵庫Bより冷蔵庫Cの方が総費用が多いね。」
お姉さん「1年間あたりの電気代は冷蔵庫Cの方が安いので、使い続けると冷蔵庫Bより冷蔵庫Cの方が総費用が少なくなるね。」
健太さん「それなら、2つの冷蔵庫の総費用が等しくなるときがあるね。」

- ・アを選択し、方程式を解いて、使用年数の値を求めることについて書いている。

反応率：14.7%（全国差：-0.7）

または

- ・イを選択し、グラフの交点の座標から、使用年数の値を読み取ることについて書いている。

反応率：22.9%（全国差：+3.5）

正答率：37.7%（全国差：+3.0）



冷蔵庫Bと冷蔵庫Cの総費用が等しくなるおおよその使用年数を考えます。下のア、イのどちらかを選び、それを用いて冷蔵庫Bと冷蔵庫Cの総費用が等しくなる使用年数を求める方法を説明しなさい。ア、イのどちらを選んで説明してもかまいません。

ア それぞれの冷蔵庫の使用年数と総費用の関係を表す式

イ それぞれの冷蔵庫の使用年数と総費用の関係を表すグラフ

※正答率は、アを選択した場合と、イを選択した場合の合計です。それぞれの値は小数第2位を四捨五入したものであるため、それぞれの反応率の合計と正答率が一致していません。

正答と主な誤答例の反応率

正答の条件

- ① アを選択し、方程式を解いて、使用年数の値を求めることについて書いているもの
- ② イを選択し、グラフの交点の座標から、使用年数の値を読み取ることについて書いているもの

正答 【①または②について記述しているもの】 反応率：37.7%（全国との差：+3.0）

主な誤答例【解答類型3、9】 アについては方程式を、イについてはグラフを用いることのみを記述しているもの 反応率：8.2%（全国との差：-1.0）

【解答類型4、10】 アについては使用年数の値を求めること、イについては使用年数の値を読み取ることのみを記述しているもの

反応率：2.0%（全国との差：+0.4）

<解答類型別に見たつまずきと指導のポイント>

解答類型3、9

つまずき：求める方法を説明する場面で、方程式やグラフの「用い方」を数学的に表現することができていません。

解答類型4、10

つまずき：求める方法を説明する場面で、「用いるもの」（方程式やグラフ）とその「用い方」の両方を指摘することができていません。

【指導のポイント】

様々な問題を数学を活用して解決したり、問題解決の過程を振り返ったりする上で、方法や手順を明確に記述したり、他者と協働的に解決しながら、自らの考えを伝え合ったりすることが大切です。その際、「用いるもの」（表、式、グラフ）とその「用い方」（交点の座標を読み取るなど）について明らかにできるように指導することが大切です。問題解決の方法や手順を説明する場面を設定し、「用いるもの」や「用い方」のいずれか一方の説明にとどまらず、何をどのように用いればよいかといった「用いるもの」とその「用い方」の両方を指摘し、的確に説明できるように指導することが大切です。

また、問題解決の方法を振り返る場面では、方法を説明し合い、互いの説明を比較・検討する活動を取り入れることも考えられます。

<課題に対応したワークシート>

- ・三重の学-Viva!!セット第9弾「携帯電話の使用料金について考えてみましょう」【第2学年】
- ・平成28年度ワークシート「事象の数学的な表現と解釈と問題解決の方法」【第2学年】

中学校英語（「聞くこと」、「読むこと」、「書くこと」について）

<分類・区分別集計結果>

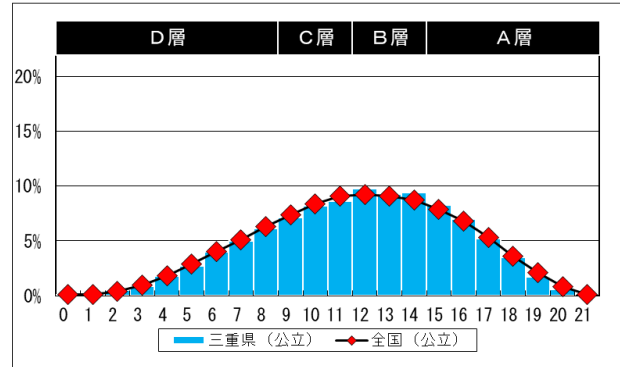
分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率(%)
学習指導要領の領域	聞くこと	7	67.1(-0.8)
	話すこと(参考値)		
	読むこと	6	54.5(-1.1)
	書くこと	8	47.5(+1.7)
評価の観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	0	-
	外国語表現の能力	1	1.8(+0.0)
	外国語理解の能力	6	43.7(-1.0)
	言語や文化についての知識・理解	14	65.2(+0.5)
問題形式	選択式	13	70.7(-0.7)
	短答式	5	47.6(+2.4)
	記述式	3	6.2(-0.6)

※表中の()内の数値は全国平均との差を示します。

<生徒の正答数分布グラフ>

(横軸：正答数、縦軸：生徒の割合)

	平均正答率	平均正答数	中央値	最頻値
本県	56.0	11.8問/21問	12.0問	12問
全国	56.0	11.8問/21問	12.0問	12問



<今回の調査結果の主な特徴と具体的な設問>

文の中で適切に接続詞を用いることができます。

大問9 語や文法事項等を理解して正しく文を書く【書くこと】

設問(1)

文中の空所に入れる接続詞として、最も適切なものを選択する問題

① Let's play tennis tomorrow () it's sunny.

- 1 and ② if 3 but 4 or

正答率：81.2% (全国差：+1.3)

② I saw a friend of mine at the station, () I had no time to talk to him.

- 1 if 2 or ③ but 4 because

正答率：58.9% (全国差：+0.7)

大問 7 説明文の大切な部分を読み取る【読むこと】

設問 チンパンジーに関する説明文とその前後にある対話を読んで、書き手が最も伝えたい内容を選択する問題

Ms. Smith: Ichiro, why don't you read this article? It's interesting.
 Ichiro: Oh, thank you, but it's all in English. That's difficult for me.
 Ms. Smith: This newspaper is for students. Try reading it!
 Ichiro: OK.

[A few minutes later]
 Ms. Smith: What is the most important point in this article?
 Ichiro: ().
 Ms. Smith: Right. That is the main point.

[Ichiro reads the article.]

Chimpanzees are one of the smartest animals. They can do a lot of things. How smart are they? A team at a university in Japan found the answer. Some chimpanzees may be as smart as four-year-old children in some ways.

Few animals can understand *janken*. In *janken*, none is the strongest among *rock*, *scissors*, and *paper*. Learning about the relation among the three is very difficult.

The team tried teaching *janken* to seven chimpanzees. They showed pictures of two different *janken* hands to the chimpanzees. The chimpanzees got food when they pointed to the stronger one. Finally, five of the chimpanzees learned *janken*.

The team also tried teaching *janken* to some human children. They found that children could learn *janken* when they were about four years old. Through this study, they got the answer to the question: "How smart are chimpanzees?"

- ① Some chimpanzees may be as smart as four-year-old children
- 2 Few animals can understand *janken*
- 3 The team showed pictures of two different *janken* hands to the chimpanzees
- 4 The team found that children could learn *janken* when they were about four years old

正答率：31.1%（全国差：-1.7）

正答と主な誤答例の反応率			
正答	【解答類型 1】	1 と解答しているもの	反応率：31.1%（全国との差：-1.7）
主な誤答例	【解答類型 2】	2 と解答しているもの	反応率：20.7%（全国との差：+0.8）
	【解答類型 3】	3 と解答しているもの	反応率：28.0%（全国との差：+1.4）
	【解答類型 4】	4 と解答しているもの	反応率：19.2%（全国との差：-0.5）

<解答類型別に見たつまずきと指導のポイント>

解答類型 2・3・4

つまずき：前後の対話文を理解することができていないために、書き手が最も伝えたいことを選んでいないか、文章全体を読んだ上で、文中の“*How smart are chimpanzees(they)?*”という手掛かりを基に、書き手が最も伝えたいことを判断することができていません。

【指導のポイント】

説明文などの大切な部分を捉える際には、文章全体を通して読み、複数の情報の中から書き手が最も伝えたいことは何であるかを判断することが大切です。指導に当たっては、文章全体を漫然と読ませるのではなく、繰り返し用いられている語（句）や問いかけなどの手掛かりを基にして、最も大切な語句や文を選ばせたり、各段落の働きを理解させたりすることが重要です。

具体的な指導としては、教科書や他の題材を用いた、以下のような手順の言語活動が考えられます。

- ① 全体の大まかな内容を捉える
- ② 各段落の最も大切な内容を表す英文を選ぶ
- ③ それらを比較するなどして、文章の最も大切な部分について意見交換をする

このような活動を行う際には、日常的な話題にとどまらず、社会的な話題（自然環境問題や平和問題など）についての題材も扱うことが大切です。

中学校英語 授業改善のポイント

本年度、初めて中学校英語の「全国学力・学習状況調査」が実施され、新学習指導要領で育成すべき資質・能力が具体的に示されました。

この調査問題と、「全国学力・学習状況調査 授業アイデア例」（国立教育政策研究所教育課程研究センター）をもとに、授業改善のポイントを4技能（5領域）で、以下のようにまとめました。

新学習指導要領では、**言語活動を通してコミュニケーションを図る資質・能力を育成することが求められています。**

1 聞くこと

（1）明確な目的をもって聞かせる

新学習指導要領の「聞くこと」の目標は、以下の3つです。

- ①必要な情報を聞き取る
- ②話の概要を捉える
- ③要点を捉える

リスニングの前に、聞き取らせたいポイントを示し、どのような内容を聞き取るべきか考えながら取り組むことができるようにしましょう。

また、生徒と英語でやり取りをするなど、ステップを踏んで、「聞けるようになる指導」が必要です。英文を途中で区切ったり、ヒントを与えたりするのもよいでしょう。

（2）授業は英語で行う

生徒が日常生活において英語に触れる機会は限られています。

教師は自然な口調の英語で語り掛け、日常的に生徒が聞いて理解する活動を繰り返し行いましょう。

（3）技能を統合した言語活動を行う

聞いたことをもとに、話したり書いたりする活動を行いましょう。

2 読むこと

（1）明確な目的をもって読ませる

新学習指導要領の「読むこと」の目標は、以下の3つです。

- ①必要な情報を読み取る
- ②文章の概要を捉える
- ③要点を捉える

一文ずつ解説しながら全体の理解につなげる読み方ではなく、目的に応じた読み方をしましょう。

（2）同様の話題を扱った別の初見の英文も活用する

教科書のリスニング用の活動で使用されている英文（スクリプト）や、ALT作成の英文など、初見の英文を読む機会も作りましょう。

（3）技能を統合した言語活動を行う

読んだことをもとに、話したり書いたりする活動を行いましょう。

3 話すこと（やり取り）

(1) 生徒が自分で考えながら話す機会を増やす

帯活動で Small Talk などに取り組み、自分の考えや気持ちを、即興でやり取りすることに慣れさせましょう。

(2) 文部科学省の資料を活用する

「中学校外国語科の移行期間における指導資料」に、帯活動についての年間計画や展開案が記載されています。（文部科学省のHPに掲載されています。）

*各中学校に配付済（令和元年7月1日中学校英語教育推進一斉研修）



中学校外国語科の移行期間における指導資料（文部科学省HP）

4 話すこと（発表）

(1) 生徒が即興で話す機会を計画的に設定する

原稿を用意してから話すのではなく、話したい内容について、メモなどを見ながら話す活動を行いましょう。話し手として伝えたい順番や聞き手に分かりやすい展開、構成を考えて、それらをメモにとるなどして整理させるとよいでしょう。

5 書くこと

(1) 正確さは徐々に求めていく

言語の正確さを高めるためには、ある程度時間が必要であることに留意して、様々な場面で既習事項に触れたり考えたりする機会を設け、「最終的に身に付けていく」というスタンスで長期的に繰り返し指導しましょう。

(2) まとまりやつながりを大切にする

メモを活用しながら、初めは文単位から、徐々にまとまりのある文章に取り組みましょう。英語の文章の構成の特徴や接続詞や副詞などに着目させ、文や段落をつなげていきましょう。

(3) 口頭で伝える活動を行う

いきなり書くのではなく、自分の考えや気持ちをペアやグループで簡単な語句や文を用いて口頭で伝える活動をした後にその内容を書いてまとめる、といった言語活動を設定しましょう。

参考資料

・授業アイデア例には、授業改善のヒントがより詳しく掲載されています。参考にしてください。

英語 「即興で伝え合う力を高めよう」
～聞いて把握した内容について、やり取りをする～

授業アイデア例

【言語活動を通してコミュニケーションを図る資質・能力を育成する学習の流れ】

Interactive Teacher Talk → S-S Interaction 1 → Sharing → S-S Interaction 2

① 概説が会話の経緯、発展させるためのモデルを見せる Interactive Teacher Talk の活動事例

いきなり質問をするのではなく、話題自身のことを探る
I like watching movies in my free time. It's a lot of fun. What do you usually do in your free time, everyone? How about you, Yuma? ... Sleeping?

最初の必要に応じてやり取りを調整させる（一人一人の英語の得意さに応じて対応）
You usually sleep in your free time. I like sleeping, too. I also like walking (ジョギング) などとしたい my dog, too. Do you like dogs? ... No, cat.

やり取りを伸ばさないように、生徒の自信をとらえて英語で応答する
Oh, you like cats! I see. Yuma, do you keep a cat in your house? Keep ... 猫? Oh, yes, I keep two oh ... no, three cats.

英語 「情報を正しく伝える力を高めよう」
～与えられた情報に基づいて、3人組の英文を正しく書く～

授業アイデア例

【言語活動を通してコミュニケーションを図る資質・能力を育成する学習の流れ】

1. Reporterになろう → 2. Editorになろう → 3. Writerになろう

① Reporterになろう
情報/ストーリーを元に、ある人物について英語で書いて提供する
1. ペアですれぞれ異なる人物の情報を元に英文を書く
2. 読み手、聞き手として質問やコメントを記入する

② Editorになろう
書いた英文を褒めたい、進歩を正しく伝えるように書き直す

③ Writerになろう
ペアで完成させたMaryについての新聞記事

Today, you are reporters. First, please read the information and write about the person. Second, please check your English and tell about the person in pairs.

Mary's Column
名前: Mary
性別: 女性
出身地: カナダ
住んでいる国: 日本
得意なスポーツ: サッカー
Mary from Canada. She lives Tokyo. She can't speak Japanese. She speaks English and French. She can play soccer.



平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた授業アイデア例（中学校英語）

各設問の正答率、無解答率及び関連ワークシート一覧

小学校国語

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等			正答率(%)		無解答率(%)		3点セットとの関連		
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	三重県(公立)	全国(公立)	三重県(公立)	全国(公立)	全国学力・学習状況調査との関連	みえスタディ・チェックとの関連	ワークシートとの関連
1一	公衆電話について調べたことを【報告する文章】で(資料2)と(資料3)をそれぞれどのような目的で用いているか、適切なものを選択する	図表やグラフなどを用いた目的を捉える	5・6エ			71.4	71.2	0.3	0.5	H28 小 B2一 H28 小 B2二	H28 小5 第2回 4二	
1二	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の「(2) 公衆電話にはどのような使い方や持ちようがあるのか」における書き方の工夫として適切なものを選択する	情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方の工夫を捉える	5・6ウ			62.8	63.4	4.4	5.9	H30 小 B2三		学-Viva!!セット第11弾 「インタビューをもとに新聞記事を書こう」
1三	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の「(1)に、(2) 調査の内容と結果」の(1)と(2)で分かったことをまとめて書く	目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く	5・6ウ			30.1	28.8	3.6	3.8	H29 小 B2三 H30 小 B2二		学-Viva!!セット第11弾 「目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書こう②」
1四(1)ア	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の中の「――」部分を、漢字を使って書き直す(調査のたいしょう)	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う		5・6(1)ウ(ア)		43.7	41.9	6.9	8.2	H29 小 A7(1)		学-Viva!!セット第12弾 「漢字を読んだり、書いたりしよう」 学-Viva!!セット第13弾 「文の中で漢字を正しく使おう」 学-Viva!!セット第14弾 「漢字を読んだり、書いたりしよう」
1四(1)イ	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の中の「――」部分を、漢字を使って書き直す(友達にかざらず)		5・6(1)ウ(ア)		69.3	69.4	12.1	12.1				
1四(1)ウ	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の中の「――」部分を、漢字を使って書き直す(かんしんをもってもらいたい)		5・6(1)ウ(ア)		33.7	35.6	4.4	4.9			学-Viva!!セット第14弾 「漢字を読んだり書いたりしよう」	
1四(2)	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の「……」の1文を、接続語「ここで」を使って2文に分けて書き直す	文と文の意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く		3・4(1)イ(ウ)		47.3	47.8	11.7	11.3	H25 小 A3二	H30 小5 第1回 1二(2)	学-Viva!!セット第7弾 「文と文をつなぐ言葉について考えよう」 H27 小4 「文と文をつなぐ言葉」
2一(1)	食べ物の保存についてまとめている【ノートの一部】の「ア」に入る、疑問に思ったこと①に対する答えとして適切なものを選択する	目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む		5・6ウ		80.6	80.7	0.7	1.4	H28 小 B3三 H30 小 B3二	H28 小5 第1回 二 H31 小4 第1回 三	H28 小4 「資料を読み取ろう」
2一(2)	食べ物の保存についてまとめている【ノートの一部】の「イ」に、疑問に思ったこと②に対する答えになるように考えて書く		5・6ウ		77.7	75.9	5.0	5.0	H28 小 B3三 H30 小 B3二	H28 小5 第2回 4三 H30 小5 第1回 3一 H31 小4 第1回 3二 H31 小5 第1回 3二	学-Viva!!セット第13弾 「新聞記事を書こう」 学-Viva!!セット第14弾 「し料をもとに新聞記事を書こう」	
2二	梅干し作りについて【知りたいこと】を調べるために、選んだ本の【目次の一部】から、読むページとして適切なものを選択する	目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読む		5・6イ		90.1	88.5	2.5	4.2	H26 小 B2三 H30 小 B3一	H28 小4 第1回 4三	
3一	豊職人への【インタビューの様子】の「ア」に入る、自分の理解が正しいかを確認する質問として適切なものを選択する	話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問をする		5・6エ		81.8	81.3	2.3	3.4	H28 小 B1二 H28 小 B1三	H30 小4 第1回 4	H28 小4 「話の中心に気をつけて聞き、しつ問しよう」 H30 小5 「話の展開に沿って質問しよう」
3二	豊職人への【インタビューの様子】の「……」の場面における、質問の工夫として適切なものを選択する	目的に応じて、質問を工夫する		5・6エ		67.8	67.4	3.0	4.2			
3三	【インタビューの様子】の「イ」に、豊職人の仕事への思いや考えに着目して心に残ったことを書く	話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる		5・6エ		69.4	68.2	13.4	14.2	H30 小 B1三	H29 小4 第1回 3	H27 小4 「質問をしたり感想を伝えたりしよう」
3四	ことわざの使い方の例として、【ノートの一部】の「ウ」に入る適切なものを選択する(言より慣れよ)	ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる		3・4(1)ア(イ)		73.1	73.0	6.3	7.9	H29 小 A5 H30 小 A6	H29 小5 第2回 1三	

中学校国語

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				正答率(%)		無解答率(%)		3点セットとの関連		
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	三重県(公立)	全国(公立)	三重県(公立)	全国(公立)	全国学力・学習状況調査との関連	みえスタディ・チェックとの関連	ワークシートとの関連
1一	「日本の文化の中には、海外でも広く知られているものがあります。……第一回は、弁当です。」について説明したものとして適切なものを選択する	文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもつ			2ウ		62.8	63.9	0.2	0.1		H29 中2 第2回 3一	
1二	「海外に広がる弁当の魅力」で述べられている、弁当の魅力として適切なものを選択する	文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える			1イ		60.3	61.5	0.1	0.1	H27 中 B2二 H28 中 B2二 H30 中 B1三	H27 中2 第1回 3一 H28 中2 第1回 2一 H29 中2 第1回 3二	学-Viva!!セット 第11弾 「必要な情報を整理して書こう」
1三	「みんなの短歌」に掲載されている短歌の中から一首を選び、感じたことや考えたことを書く	文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをもつ			1オ		91.6	91.2	1.4	1.7		H28 中1 第1回 3二(2) H29 中2 第2回 2二	
1四	「声の広場」への投稿を封筒で郵送するために、投稿先の名前と住所を書く	封筒の書き方を理解して書く			1(2)ア		53.4	56.8	6.0	5.6	H24 中 A7五		学-Viva!!セット 第14弾 「手紙の書き方を知ろう」
2一	話し合いでの発言の役割について説明したものとして適切なものを選択する	話し合いの話題や方向を捉える			1オ		77.9	80.4	0.3	0.2		H29 中2 第1回 2一 H30 中2 第1回 2一	
2二	話し合いでの発言について説明したものとして適切なものを選択する	相手に分かりやすく伝わる表現について理解する			1ウ		67.6	69.7	0.3	0.3		H28 中2 第1回 4二	学-Viva!!セット 第13弾 「引用して、自分の考えを書こう」 【小学校】
2三	話し合いの流れを踏まえ、「どうするか決まっていないうこと」について自分の考えを書く	話し合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつ			1オ		61.9	60.4	8.2	8.9		H29 中2 第1回 2三 H31 中1 第1回 2二	
3一	意見文の下書きに書き加える言葉として適切なものを選択する	書いた文章を読み返し、論の展開にふさわしい語句や文の使い方を検討する			2エ		86.2	87.4	0.4	0.4		H31 中2 第1回 2二	
3二	広報誌の一部にある情報を用いて、意見文の下書きに「魅力」の具体例を書き加える	伝えたい事柄について、根拠を明確にして書く			1ウ		77.2	77.8	7.6	7.9	H28 小 B2二 (1)、(2)	H28 中1 第1回 2二	学-Viva!!セット 第13弾 「根拠を明確にして意見を書こう」
4	語の一部を省いた表現についての説明として適切なものを選択する	語の一部を省いた表現について、話や文章の中での適切な活用の仕方を理解する			1(1)イ(ウ)		77.8	78.7	1.2	1.2			

小学校算数

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				正答率(%)		無解答率(%)		3点セットとの関連		
			数と計算	量と測定	図形	数量関係	三重県(公立)	全国(公立)	三重県(公立)	全国(公立)	全国学力・学習状況調査との関連	みえスタディ・チェックとの関連	ワークシートとの関連
1(1)	長方形を直線で切ってきた図形の中から、台形を選ぶ	台形について理解している			4(1)アイ		92.5	93.1	0.1	0.1	H23 小 A6	H30 小5第2回4(1) H31 小4第1回4(2)	学-Viva!!セット第8弾 「四角形を調べよう」 学-Viva!!セット第13弾 「どんな図形ができるかな」
1(2)	二つの合同な台形を、ずらしたり、回したり、裏返したりして、同じ長さの辺どうしを合わせてつくることのできる形を選ぶ	図形の性質や構成要素に着目し、ほかの図形を構成することができる			4(1)イ 5(1)イ		59.9	60.3	0.4	0.6	H28 小 A6 H28 小 B5(2) H30 小 B1(1)	H29 小5第1回3(2)	
1(3)	減法の式が、示された形の面積をどのように求めているのかを、数や演算の表す内容に着目して書く	示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述できる			5(1)ア		40.1	43.9	6.4	6.7	H28 小 B5(1)	H27 小5第2回3(1)	
2(1)	1980年から2010年までの、10年ごとの市全体の水の使用量について、棒グラフからわかることを選ぶ	棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ることができる				3(3)ア	95.6	95.2	0.1	0.2	H21 小 B5(2)	H31 小5第1回5(3) H30 小5第2回5(1) H28 小5第2回3(1)	学-Viva!!セット第13弾 「グラフを読み取ろう」
2(2)	2010年の市全体の水の使用量が1980年の市全体の水の使用量の約何倍かを、棒グラフから読み取って書く	2010年の市全体の水の使用量が1980年の市全体の水の使用量の何倍か読み取ることができる			4(3)イ	3(3)ア	82.1	78.6	0.6	1.0	H26 小 B2(1)	H28 小5第2回1(3)	
2(3)	二つの棒グラフから、一人当たりの水の使用量についてわかることを選び、選んだだけを書く	資料の特徴や傾向を関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述できる			5(4)ア	3(3)ア	51.3	52.1	1.8	2.0	H21 小 B5(3)	H29 小5第2回5(2)	学-Viva!! セット第7弾 「(小5)【数量関係】グラフの問題」
2(4)	洗顔と歯みがきで使う水の量を求めるために、 $6 + 0.5 \times 2$ を計算する	加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができる			4(5)ウ	4(2)ア	66.0	60.1	0.7	1.0	H29 小 A2(3)	H30 小5第2回1(1) H29 小5第2回1(2)	学-Viva!! セット第12弾 「計算のきまり」 学-Viva!!セット第7弾 「計算の順序ときまり」
3(1)	350-97について、引く数の97を100にした式にして計算するとき、ふさわしい数値の組み合わせを書く	示された減法に関して成り立つ性質を基にした計算の仕方を解釈し、適用することができる			3(2)イウ		83.2	81.8	0.9	0.9			
3(2)	減法の計算の仕方についてまとめたことを基に、除法の計算の仕方についてまとめると、どのようなものかを書く	示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述できる			3(2)ウ 4(3)エ		29.6	31.1	11.1	10.8	H28 小5第2回1(1) H31 小5第1回2(1)	H28 小4	「小数×整数の計算のしかたを考えよう」
3(3)	被除数と除数にける数や割る数を選び、 $600 \div 15$ を計算しやすい式にして計算する	示された計算の仕方を解釈し、かける数や割る数を選び、計算しやすい式にして計算できる			4(3)イエ		75.0	74.9	1.9	2.1	H28 小 A1(2)	H28 小5第1回1(2) H31 小5第1回2(1)	
3(4)	$1800 \div 6$ は、何m分の代金を求めている式といえるのかを選ぶ	示された除法の式の意味を理解している			5(3)アイウ	3(1)	44.3	47.0	1.8	2.2	H29 小 A1(3) H28 小 B3(1) H25 小 B2(1)		
4(1)	だいたい何分後に乗り物券を買う順番がくるのかを知るために、調べる必要がある事柄を選ぶ	目的に適した伴って変わる二つの数量を見いだすことができる				4(1)	81.7	82.7	1.6	1.7	H28 小 B4(1) H25 小 B5(1)		
4(2)	何秒後にゴンドラに乗ることができるのかを求め式を書く	示された場面において、複数の数量から必要な数量を選び、立式することができる			3(3)イ		69.8	68.6	4.3	4.4	H29 小 B2(1)		
4(3)	残り7ボール分進むのにかかる時間の求め方と答えを記述し、24分以内にレジに着くことができるかどうかを判断する	場面の状況から、単量当たりの大きさを基に、求め方と答えを記述し、その結果から判断できる			5(4)ア	5(1)ア	62.6	62.6	3.2	3.5	H28 小 A4		

中学校数学

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				正答率(%)		無解答率(%)		3点セットとの関連		
			数と式	図形	関数	資料の活用	三重県(公立)	全国(公立)	三重県(公立)	全国(公立)	全国学力・学習状況調査との関連	みえスタディ・チェックとの関連	ワークシートとの関連
1	αとβが正の整数のとき、四則計算の結果が正の整数になるものは限らないものを選ぶ	数の集合と四則計算の可能性について理解している	1(1)ア				59.9	62.2	0.1	0.2	H23 中 A1(2) H25 中 A1(3)	H30 中2 第1回 1(2)	学-Viva!セット第10弾 「これまでの学習を確認しよう④(数と式)」
2	連立二元一次方程式 $\begin{cases} y = -2x + 1 \\ y = x - 5 \end{cases}$ を解く	簡単な連立二元一次方程式を解くことができる	2(2)ウ				70.6	70.1	4.2	5.1	H27 中 A3(4) H29 中 A3(4) H30 中 A3(3)	H27 中2 第2回 1(6)	宿題用学-Viva!セット「これまでの復習をしよう①」 H30中2 「連立方程式」
3	△ABCを、矢印の方向に△DEFまで平行移動したとき、移動の距離を求める	平行移動の意味を理解している	1(1)イ				82.8	83.6	0.6	0.7	H27 中 A4(2) H29 中 A4(2)	H27 中2 第2回 2(2) H31 中2 第1回 4(1)	学-Viva!セット第7弾 「図形の移動について考えよう」 学-Viva!セット第9弾 「三角形の移動を考えよう」 学-Viva!セット第10弾 「これまでの学習を確認しよう⑤(数と式・平面図形)」
4	反比例の表から式を求める	反比例の表から、xとyの関係を式で表すことができる			1(1)エ		51.6	48.9	8.1	10.4	H21 中 A10(2)		学-Viva!セット第12弾 「反比例のグラフ」 学-Viva!セット第13弾 「比例・反比例、一次関数(変化の割合など)」 学-Viva!セット第14弾 「比例・反比例(表・式・グラフ)」
5	2枚の10円硬貨を同時に投げるとき、2枚とも表の出る確率を求める	簡単な場合について、確率を求めることができる			2(1)ア		72.8	72.8	2.9	3.3	H28 中 A13(2) H29 中 A15(2) H30 中 A15(2)		学-Viva!セット第13弾 「確率」 H29中2 「確率を求めよう」
6(1)	冷蔵庫Aの使用年数と総費用の関係を表すグラフについて、点Pのy座標と点Qのy座標の差を表すものを選ぶ	グラフ上の点Pのy座標と点Qのy座標の差を、事象に即して解釈することができる			2(1)イ、エ		39.4	38.8	0.3	0.3			
6(2)	冷蔵庫Bと冷蔵庫Cについて、式やグラフを用いて、2つの総費用が等しくなる使用年数を求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる			2(1)イ、エ		37.7	34.7	10.0	11.6	H28 中 B3(3)	H27 中2 第2回 5(3) H29 中2 第2回 4(3) H30 中2 第2回 4(3)	学-Viva!セット第9弾 「携帯電話の使用料金について考えてみましょう」
7(1)	証明で用いられている三角形の合同条件を書く	証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解している	2(2)ア				78.9	75.8	4.3	5.2	H26 中 A7 H27 中 A7(2) H29 中 A7(1)		学-Viva!セット第7弾 「図形の証明を考えよう」 学-Viva!セット第13弾 「図形の証明・図形の性質」 H30中2 「証明の利用」
7(2)	ある予想に対して与えられた図が反例となっていることの説明として正しいものを選ぶ	反例の意味を理解している	2(2)イ				77.1	77.2	0.5	0.5		H28 中2 第2回 3	
7(3)	四角形ABCDがどのような四角形であれば、AF=CEになるかを説明する	結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし、説明することができる	2(2)ウ				54.2	53.3	15.9	17.6			学-Viva!セット第13弾 「図形の証明・図形の性質」
8(1)	読んだ本の冊数と人数の関係をまとめた表から、読んだ本の冊数の最頻値を求める	資料を整理した表から最頻値を読み取ることができる			1(1)ア		58.8	57.9	10.0	10.6	H24 中 A15(2) H28 中 A12(1)	H27 中2 第1回 2(10) H29 中2 第1回 5(1) H29 中2 第2回 3(1)	学-Viva!セット第10弾 「これまでの学習を確認しよう⑧(数と式・資料の活用)」 学-Viva!セット第13弾 「範囲と最頻値・中央値」 宿題用学-Viva!セット 「これまでの学習を確認しよう①」 H30中1 「度数の分布と代表値」
8(2)	「1日に26分くらい読書をしている生徒が多い」という考えが適切ではない理由を、ヒストグラムの特徴を基に説明する	資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる			1(1)イ		43.0	40.8	20.5	21.3	H27 中 B5(2) H28 中 B5(1)	H27 中2 第2回 7(3) H28 中2 第2回 6(2)	学-Viva!セット第8弾 「全国の平均寿命を比べよう」 学-Viva!セット第14弾 「資料の傾向をとらえて説明しよう」
8(3)	図書だよりの下書きに書かれているわかったことの根拠となる値として適切なものを選ぶ	問題解決をするためにどのような代表値を用いるべきかを判断することができる			1(1)ア、イ		53.8	53.6	1.2	1.0	H29 中 B5(2)	H30 中2 第2回 5(1) H31 中2 第1回 5(1)	
9(1)	説明をよみ、 $6n+9$ を $3(2n+3)$ に变形する理由を完成する	与えられた説明を振り返って考え、式変形の目的を捉えることができる	2(1)イ、ウ				55.7	57.4	8.9	9.5	H23 中 B2(2)		
9(2)	連続する5つの奇数の和が中央の奇数の5倍になることの説明を完成する	事柄が成り立つ理由を説明することができる	2(1)イ、ウ				58.6	59.7	16.9	17.8	H23 中 B2(3) H24 中 B2(1) H27 中 B2(2)	H27 中2 第1回 4(2)	H30中1 「碁石の数を表そう」
9(3)	連続する4つの奇数の和が $4(2n+4)$ で表されたとき、 $2n+4$ はどんな数であるかを選ぶ	総合的・発展的に考察し、得られた数学的な結果を事象に即して解釈することができる	2(1)イ、ウ				69.2	69.6	2.0	1.9			

中学校英語

●聞くこと、読むこと、書くこと

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				正答率(%)		無解答率(%)		ワークシートとの関連
			聞くこと	話すこと	読むこと	書くこと	三重県(公立)	全国(公立)	三重県(公立)	全国(公立)	
1 (1)	ある状況を描写する英語を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を選択する	語と語の連結による音変化をとらえて、情報を正確に聞き取ることができる	(7) (4)				90.2	91.1	0.1	0.2	
1 (2)	教室英語を聞いて、その指示の内容を最も適切に表している絵を選択する	教室英語を理解して、情報を正確に聞き取ることができる	(7) (4)				88.0	88.6	0.1	0.1	
1 (3)	外国人の先生と女子生徒の会話を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を選択する	日常的な話題について、情報を正確に聞き取ることができる	(7) (4)				73.2	72.3	0.2	0.2	
1 (4)	家で会話を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を選択する	日常的な話題について、情報を正確に聞き取ることができる	(7) (4)				59.5	61.8	0.2	0.2	
2	イギリスと日本の類似点や相違点についてのスピーチを聞いて、話の展開に合わせて示す絵を並び替える	まとまりのある英語を聞いて、話の概要を理解することができる	(7)				70.7	71.8	0.2	0.2	
3	天気予報を聞いて、ピクニックに行くのに最も適する曜日を選択する	まとまりのある英語を聞いて、必要な情報を理解することができる	(7)				80.8	82.0	0.2	0.2	学-Viva!!セット第12弾 「会話の要点を聞き取ろう」
4	来日する留学生の音声メッセージを聞いて、部活動についてのアドバイスを書く	聞いて把握した内容について、適切に応じることができる	(7)				7.0	7.6	39.9	42.3	学-Viva!!セット第13弾 「提案に対する自分の考えを簡潔に書こう」 学-Viva!!セット第14弾 「聞いた内容についてあなたのアドバイスを書こう」
5 (1)	ある場所を説明する英文を読んで、空所に入る語句として最も適切なものを選択する	日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができる			(4)		78.7	79.4	0.1	0.2	学-Viva!!セット第12弾 ・「何についての説明かを考えよう」 ・「内容について理解しよう(交換留学生との交流会)」
5 (2)	ある状況を描写する英文を読んで、その内容を最も適切に表している絵を選択する	日常的な話題について、簡単な文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができる			(4)		72.2	74.4	0.2	0.2	・「内容について理解しよう(「みえび展」案内チラシ)」 ・「表から必要な情報を読み取ろう(部活動活動場所)」
5 (3)	月ごとの平均気温を表したグラフを見て、その内容を正しく表している英文を選択する	日常的な話題について、簡単な文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができる			(4)		72.3	73.1	0.4	0.4	学-Viva!!セット第13弾 ・「表から必要な情報を読み取ろう(テレビ番組表)」 ・「何についての説明かを考えよう」
6	発表活動のためにまとめられた100円ショップについての文章を読んで、話の流れを示すスライドとして最も適切なものを選択する	まとまりのある文章を読んで、話のあらすじを理解することができる			(7)		62.7	62.9	0.4	0.4	学-Viva!!セット第13弾 「話の流れをつかもう」
7	テンバナーに関する説明文とその前後にある対話を読んで、書き手が最も伝えたい内容を選択する	まとまりのある文章を読んで、説明文の大切な部分を理解することができる			(7)		31.1	32.8	1.0	1.0	
8	食糧問題について書かれた資料を読んで、その問題に対する自分の考えを書く	書かれた内容に対して、自分の考えを示すことができるよう、話の内容や書き手の意見などをとらえることができる			(7)		9.9	10.9	26.0	27.9	学-Viva!!セット第13弾 「自分の考えと理由を伝えよう」
9 (1) ①	文中の空所に入れる接続詞として、最も適切なものを選択する	文の中で適切に接続詞を用いることができる			(7) (4)		81.2	79.9	0.2	0.3	
9 (1) ②	文中の空所に入れる接続詞として、最も適切なものを選択する	文の中で適切に接続詞を用いることができる			(7) (4)		58.9	58.2	0.4	0.5	
9 (2) ①	与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりなどして、会話が成り立つように英文を書く	一般動詞の2人称単数現在時制の疑問文を正確に書くことができる			(7) (4)		75.6	73.6	3.7	4.4	
9 (2) ②	与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりなどして、会話が成り立つように英文を書く	一般動詞の1人称複数過去時制の肯定文を正確に書くことができる			(7) (4)		28.5	28.9	11.4	12.6	
9 (3) ①	与えられた情報に基づいて、ある女性を説明する英文を書く	与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文を正確に書くことができる			(7) (4)		59.1	53.5	5.1	6.4	
9 (3) ②	与えられた情報に基づいて、ある女性を説明する英文を書く	与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文を正確に書くことができる			(7) (4)		32.2	32.9	8.3	9.3	学-Viva!!セット第14弾 「情報に基づいて説明しよう」
9 (3) ③	与えられた情報に基づいて、ある女性を説明する英文を書く	与えられた情報に基づいて、一般動詞の3人称単数現在時制の否定文を正確に書くことができる			(7) (4)		42.4	37.4	8.8	10.5	
10	学校を表す2つのピクトグラム(案内用図記号)の案を比較して、どちらがよいか理由とともに意見を書く	与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書くことができる			(7)		1.8	1.8	7.4	8.3	学-Viva!!セット第12弾 「読み手を意識して書こう」